



# 防災リーダー養成講座

主催者：可見市

開催日：令和7年11月23日, 30日 12月14日

講師等：藤村 祐子（2期生）、瀬瀬 友久（3期生）

## 主催者様より

可見市では、災害に対する正しい知識や技能を習得し、平時において地域の防災訓練・研修で活躍し、災害時には救援救護活動を担う地域の「防災リーダー」を養成するための講座を開催しています。

今年度は10代から60代までの26名が受講し、今までに延べ457名の防災リーダーを養成しています。

本講座では防災の第一線で活躍されている藤村祐子様、瀬瀬友久様に講師を務

めていただき、地域の特性や多様性を踏まえた防災、地震・津波への備え、避難所の運営についてなど、防災リーダーとしての知識だけではなく、判断力や心構えを養う講義をしていただきました。

講座を通じて防災リーダーとなられた方は地域の防災力向上のために活躍していただくことが期待されます。市も防災リーダー向けの研修等を開催することでバックアップを行います。





# みんなで守るまちと命

主催者：岐阜県・瑞穂市・朝日大学

開催日：令和7年12月17日（水）

講師等：伊藤 三枝子（1期生）

## 主催者様より

昨年に引き続き、男女共同参画推進事業として県、朝日大学と共に、男女共同参画視点で被災時の状況や避難所での生活について知り、自分の命と尊厳を守るために何ができるのか、日常の備えはどのようなものが必要なのかを知っていただくため、市民公開講座を開催しました。

来場者数は、100人を超える、多くの市民、学生が参加しました。

今回は、男女共同参画視点を軸に、災害発生時や避難所生活にどのような課題があるのかについて、ご講演いただきました。災害時の状況を知り、避難所における尊厳ある生活について考えたり、現在の課題を知り、自分たちが災害に直面した際、行動すべきこと、また、日常の備えを見直すきっかけとなりました。





## 心の輪講座

主催者：岐阜市・岐阜市教育委員会

開催日：令和7年12月2日（火）

講師等：伊藤 三枝子（1期生）

### 主催者様より

岐阜市では、11月11日から世界人権デーの12月10日までを岐阜市人権尊重推進強調月間として位置づけています。期間中、「人権の広場」、「心の輪講座」、「人権パネル展」を開催し、人権を尊重する住みよいまちづくりの実現に向けて様々な取組を行っています。

3つのイベントにおいて、約1,000人の来場者を迎え、多くの市民の方に、人権尊重の心の輪が広がっているところです。

今年度「心の輪講座」では、清流の国ぎふ女性防災士会の伊藤三枝子さんを講師としてお迎えし、「災害時に大切な思いやり～やさしさの入り口に立ってみませんか～」をテーマに講演会を開催しました。

災害時に一番優先しなければならないことは「生きること」です。そのうえで、必要な支援を行っていくためには、「思いやり」という視点をもって、行動しなければならないということを学ぶ機会となりました。





# 恵那市防災アカデミー

主催者：恵那市・恵那市防災研究会

開催日：令和7年10月18日、11月1日、11月22日

講師等：高木 淳一（1期生）、瀬瀬 友久（3期生）

## 主催者様より

迫り来る南海トラフ地震や毎年の土砂災害・浸水害にどう備え、いざという時どう行動するか——その答えを地域で共有するため、恵那市では防災リーダー養成講座「恵那市防災アカデミー」を開催しています。自助・共助の原則に基づき、防災の第一線で活躍する専門家を講師に招き、災害に対する正しい知識と技術を習得します。

今年度は、高木淳一氏による「防災士に期待される活動」、瀬瀬友久氏による「地震・津波への備え」など、講義や演習を多数実施しました。修了者38名を防災リーダーに任命し、地域防災の中核を担う人材の輪が広がっています。本講座は防災士認証講習と同等に扱われ、希望者は認証試験を受験でき、市の補助制度も利用可能です。





# 防災士養成講座

主催者：輪之内町教育委員会

開催日：令和7年6月6日（金）

講師等：小林 睦 4期生



## 主催者様より

輪之内町では、将来の防災リーダーを育てるため、中学校2年生が総合的な学習の時間を活用して防災士養成講座に取り組んでいます。2018年度から続くこの取組では、1年間を通して災害への知識や対応力を身に付け、地域を支える人材の育成をめざしています。

6月の開講式では、小林睦様を講師に迎え、「防災士に期待される活動」についての講演が行われました。

家庭内で地震が起きた場面を想定し、部屋の危険箇所を探す家庭内DIGを体験しながら、自分や家族の命を守るための行動を考えました。また、災害を自分ごととして捉えることや、日頃の備え・判断力を養うことの大切さにも触れ、生徒の意識が高まる貴重な機会となりました。

この学びを通して育った中学生防災士たちは、今後、地域活動でも力を発揮し、町の防災力向上に大きく貢献していくことが期待されています。





揖斐川町マスコットキャラクター  
かっぱの河太郎

## 地域の自主防災活動

主催者：大垣市上石津町多良地区まちづくり協議会

開催日：令和7年11月8日（土）

講師等：高木 淳一 | 期生

### 主催者様より

3年前から多良地区では、自治会長、防災&生活安全部会、防災関係者、地域選出の女性防火クラブ隊長・女性部長・避難所運営委員を対象に大垣市出前講座を活用して災害時の対応力や地域防災力の向上を図っています。

避難所での課題を題材とした講座では、げんさい未来塾1期生の高木淳一様に、トイレ問題や避難時の持ち物など、身近に感じる部分について、

わかりやすく教えていただきました。

いつ起こるか分からない大規模災害ですが、普段から準備しておくことが重要であり、防災の基本である「予防に勝る防災無し」を学びました。

今回の防災出前講座の参加者（20名）は、防災意識が向上したと思いますし、地域での防災に役立てていける講座になったと思います。

今後も防災に関する講座を続けていきたいと思っています。



# 防災コラム



行事：げんさい楽座in下呂

テーマ：地域防災、学校防災、外国人・企業防災

開催日：令和7年10月4日（土）

執筆者：下呂市危機管理課 小林康哲（げんさい未来塾9期生・公務員コース）

#024

## 「げんさい楽座in下呂」大盛況！

### ～防災・減災への想いが繋いだ『共感の輪（和）』～

今回の楽座では、地縁法人上村区、下呂市立竹原小学校、佐橋工業株式会社金山工場が、それぞれ進める防災活動について発表しました。防災士、児童、外国人技能実習生が、自らの言葉で語るその内容は、どれも心に響くものであり、会場に大きな共感が生まれました。特に熱気が高まった後半には、参加者全員がテーマごとに輪になって座る「車座」形式で交流。各団体の活動への質問や、そこから生まれた具体的な成果などについて、活発な意見交換が行われました。『郷土学習と防災学習の融合』、『体感してこそ得られる防災の楽しさ』、『外国人従業員の命を守る企業防災の在り方』など、各団体の発表を通じ、多くの学びを得ることができました。

げんさい未来塾生の方にも多数参加いただき、実りの多い楽座になりました。ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。



# 防災コラム



主催者：氷取・城区敬老会（主催：誠心会）【安八町】  
テーマ：高齢者向け防災講話（災害から命を守るには）  
開催日：令和7年9月28日（日）  
講師等：高木 淳一（1期生）

#023

## 主催者様より

今回、安八町の氷取・城区（地区青年団：誠心会）から、町に対し地区敬老会の中で高齢者向けの防災講話を依頼したところ、げんさい未来塾1期生の高木淳一様に「災害から命を守るためには」と題し、防災の基礎知識について講話をいただきました。

地元の高齢者に来賓や地区役員を合わせ、総勢60名以上の方々に向けて、和やかな雰囲気の中でお話をいただきました。

災害時におけるトイレの重要性や事前に非常持出袋を準備しておくことの大切さをお話いただきました。日頃からの備えが重要で、普段からご家族や近所の方とつながりを持っておくことは、長生きにとっても、防災にとっても、とても重要であるとのお話をいただきました。

本日の講話は、地区での防災意識の向上に大いに役立つ機会であったと感じています。



# 防災コラム



スマイルげんちゃん

主催者：養老町  
 テーマ：養老町防災訓練  
 開催日：令和7年8月31日（日）  
 講師等：4期生 兒玉 靖



養老町では年に1回、対象地区を変えながら、発生の切迫性が高まってきている南海トラフ地震に備えて、住民参加型の防災訓練を開催しています。

今回は、災害時にとても重要となるトイレの設営について、ユニークな資料を用いて紹介いただきました。能登半島地震が発生してまだ日が浅

いこと、避難生活の中でも重要なテーマであることから参加者も高い関心を持って受講していました。また、「公助には限界があるため、自助や共助といった能動的な行動が大切である」ということも伝えていただきました。

今回学んだことを今後の地区での防災活動に活かしていただけたらと思います。



# 防災コラム



主催者：岐阜県危機管理部消防課様

テーマ：消防団員技術力向上研修

開催日：令和7年7月5日（土）

講師等：兒玉 靖 4期生

#021

## 主催者様より

県では、消防団員を対象に、災害に関する基本的な知識を習得するための講義と、災害時には消火以外にも避難所運営など様々な役割を担うことも想定されることを踏まえた演習を盛り込んだ研修を実施しています。

今回の研修では、県内各地から40名の消防団員に参加していただきました。

前半の講義では、正常性バイアスの危険性を学ぶとともに、ハザードマップの見方、備蓄の重要性等について講義いただきました。

後半の演習では、ある特定の場面で取るべき消防団員としての行動についてグループに分かれて意見を出し合い、発表していただきました。

参加者からは、とても勉強になったという声が多く、有意義な研修となりました。



# 防災コラム



主催者：シーシーエヌ株式会社（岐阜市）様  
テーマ：大規模災害（大規模地震）への備えと心構え  
開催日：令和7年6月27日（金）  
講師等：兒玉 靖 4期生

#020

## 主催者様より

年4回実施しているBCP研修の一環として、社員の皆さんへ防災・減災の意識づけをしていただくことを目的に今回依頼させていただきました。

地震という、いつ発生するか分からない災害に対し、会社として、そして個人として、何をすべきかを具体的に学ぶことができました。

当事者意識を持ち、日頃から備えをしておくこと、そして、万が一の際には冷静に行動できる

ように学んだことを活かしていきたいと思います。

当日の参加者は33名、参加できなかった方には後日動画を視聴していただき、会社全体で防災・減災の意識を高めていきたいと思えます。

おかげさまで、大規模災害に対する意識が高まったという意見が多数聞こえてきており、今回の目的が達成できたと感じています。



# 防災コラム



主催者：岐阜県・海津市 様  
テーマ：さぼうフェアinかいづ  
開催日：令和7年6月7日（土）  
講師等：渡邊 英毅 1期生

#019

## 主催者様より

県では、例年海津市と共に、岐阜県海津市のさぼう遊学館と羽根谷だんだん公園において、土砂災害の恐ろしさや土砂災害から命を守る砂防事業等の目的や効果を伝える取組みとして砂防フェアinかいづを開催しています。

来場者数は年々増加傾向であり、今年度は、概ね600人を超え多くの県民に向け取り組みの輪が広がっているところです。

また、本イベントでは、防災を

テーマとした企画にも取り組んでおり、今年度の防災講座では、ペット防災をテーマにげんさい未来塾1期生の渡邊英毅様に「地域で考えるペットの災害対策」について、ご講演いただきました。

その他、ブースも数多く出展しており、防災ぬり絵、地域の防災士会による出展、地震体験車、トイレトラック等の出展等、来場者の大人から子供まで、防災を身近に感じ、想像していただく取り組みも行いました。



# 防災コラム



揖斐川町マスコットキャラクター  
かっぱの河太郎

主催者：揖斐川町様  
テーマ：揖斐川町区長研修会  
開催日：令和7年4月19日（土）

#018

## 主催者様より

毎年、町内全区長（121人）を対象に町政等について説明し、よりよい町づくりを推進するため、区長研修会を実施しています。

「自分の命は自分で守る」と題した講演では、西日本豪雨や能登半島地震の被災状況や体験を聞かせていただきながら、自分の命を守るために

は、行政からの指示を待つのではなく、備蓄品や避難などの判断は自分自身が行うことの大切さを学びました。

講演後、一部の区長から、区民にも今回の講演内容を周知するので、資料がほしいとの問合せがあり、区長として防災意識が向上したようでした。



# 防災コラム

#017



名前：高木 淳一

卒塾期：1期

活動地域：岐阜県内

連絡先：makidamatizukuri@yahoo.co.jp

## 防火クラブでHUGを開催

私が瑞穂市から依頼を受け実施した、HUG（避難所運営ゲーム）を紹介します。

ここ数年、瑞穂市市民協働安全課と協力し、瑞穂市少年少女防火クラブでのDIG（災害図上訓練）やHUGを実施しています。

防火クラブ員は小学4年生から6年生で、地図を学びはじめた4年生がDIGに参加することは、今後の学習を考えるうえでも良い機会だと感じていました。

しかし、HUGは大人でもパニックになってしまうようなゲームなので、小学生がどのように考えるのか不安があり、保護者チームの皆さんにも協力していたがきながら進めました。

HUGは、模造紙を体育館に見立て、避難スペースや通路を書き込むところから始まり、受付や情報ボード（お知らせ用）の配置場所を決めます。この体育館に、避難者を模したカードを配置していきます。

4つの地域から次々と避難してくる住民を、住んでいるコミュニティー等を加味して配置していく作業を小学生が行いました。

ついていけず拗ねたりする子どももいますが、HUGを体験することで、避難所のことを知ってもらえたことは大変有意義だったと思いますし、いろいろと防災の事を考えてもらえるきっかけになると良いと考えています。

# 防災コラム

#016



名前：伊藤 道廣

活動地域：瑞浪市

卒塾期：1期

連絡先：wideroad\_x@yahoo.co.jp

## 楽しい防災訓練を行っています！

私は「みずなみ防災会」に所属し様々な防災訓練を実施しています。

2013年の防災会発足当初より市役所、消防署、消防団、社協、災害ボランティア団体などと連携した活動を続けてきたおかげで、訓練内容が充実し、防災メニューの作成・配布が可能となりました。

それにより訓練の申し込み数が増え、内容もより多様となりました。

防災会の立ち上げには、ユニフォーム、帽子、家具固定器具などを瑞浪市から支援していただき、恵まれた環境で活動を行ってきました。

また、瑞浪市主催の大規模防災訓練とは別に「楽しい防災訓練」を基本とした小規模防災訓練も行っており、慣例の行事となった地区や、口コミでの新規申し込みも増加しています。

市内100強の地区のうち、約半分の地区で幼稚園から大学、企業、その他団体を対象に防災授業、LET (Learn the Evacuation Timing)、災害に役立つグッズ作成などを実施しています。

更に、みずなみ防災会主催講演会、瑞浪市防災ミーティングなど市民向けの情報提供やジュニア防災リーダー養成講座の子ども向けの活動も毎年開催していますので、ぜひご参加ください。



地域防災活動支援事業（防災授業）

# 防災コラム

#015



名前：國枝 孝之

卒塾期：6期

活動地域：岐阜・西濃地域

連絡先：takayuki\_kunieda@gtpt.co.jp

## 【防災は楽しく学ぶ】

私はげんさい未来塾6期生の國枝です。勤めている企業で総務に配属となり、BCP（事業継続計画）の担当になったことから、BCPを学ぶため未来塾に入塾いたしました。

在塾期間中は、スーパーバイザーである村岡先生にご指導いただき、BCPや地震災害について学びました。また、未来塾の各種研修に参加し、様々な学びを得ることができました。

令和5年度には、未来塾で学んだことを役立てたいと考え、岐阜県が主催する「伴走型支援事業」に参画し、高齢者福祉施設の伴走型支援として、避難確保計画についての講師を務めました。

昨今、大きな災害が頻発しており、高齢者施設が被災するケースも少なくないため、施設側も災害を自分事と捉えていました。

そのため、講師としてアドバイスをするだけでなく、それぞれの施設が抱えている防災課題について、一緒に考えるケースが多く、私自身も大変勉強になり、新たな発見も多くありました。

講師としてはまだ研鑽途中ですが、これからも学んだことを活かしていきたいと思えます。



令和5年12月 伴走型支援事業

# 防災コラム

#014



名前： 纈纈 友久

活動地域： 中濃地域

卒塾期： 3期

連絡先： koketsu.one@gmail.com

## 【防災は楽しく学ぶ】

私は、自分の娘が通っていた小学校のPTA役員から、御嵩町防災アカデミーという防災講習会に誘われたことがきっかけとなり防災士になりました。

御嵩町防災アカデミーで講師を務めていた岩井慶次さんの生き方に惚れ、岩井さんから当センターのげんさい未来塾に誘っていただき入塾しました。

卒塾後は、お世話になった御嵩町への恩返しもこめて、平成30年から御嵩町防災アカデミーに関わるようになり、今年で7年目です。当初は【御嵩町の過去の災害】に関する講義を担当していましたが、現在では【土砂災害や地震・津波への備え】の講義も担当しています。

その他にも講師の補助や、岩井師匠の不在時には、簡単な事務作業もやっています。

防災アカデミーでは、いろんな専門家の先生方と知り合うことができ、様々な講義を見ることができるので役得です！

最近では、御嵩町内からも講師依頼が来るようになりました。

- ・上之郷小学校：【親子防災授業】
- ・生涯学習課：【御嵩町成人講座】
- ・御嵩町社会福祉協議会：【災害ボランティア講座】

今後は御嵩町にこだわらず、いろんな町で楽しく活動できるといいな！と考えてますのでぜひお声がけください。



令和6年8月 御嵩町防災アカデミー

# 防災コラム

#013



名前：北平 智久

卒塾期：4期

活動地域：飛騨市、飛騨地域

連絡先：t-kita@soleil.ocn.ne.jp

## 【飛騨市防災リーダー養成講座での講師を通じて自分自身も学ぶ】

私が県防災リーダー育成講座を受講したのは平成28年です。その当時、飛騨市内で防災士を取得する場はありませんでした。そこで私は飛騨市長に「飛騨市内でも防災の学びの機会を作りたい」と相談し、平成30年度から飛騨市でも講座を行うことができるようになりました。

私は令和元年度第2回飛騨市防災リーダー養成講座から継続して講師を担当しています。令和元年度は避難所運営ゲーム（HUG）について、岩井コーディネーターと共にアクションシートを使った講義を実施しました。

講師を担当することで、時間管理、受講生の理解度や反応、資料づくり、受講生の効果的な発表の機会づくり（アウトプット）など、多くの学びを得ることができました。

令和2年度はHUGだけでなく、「自主防災活動と地区防災計画・学校を基軸とした防災活動」の2講義を担当しました。後述の講義は、げんさい未来塾で取り組んだことの実践発表の場ともなりました。令和3年度には災害図上訓練（DIG）の講師を担当しました。

このように、多様な講義を担当することで、自分自身が一番学ぶことができたと考えています。



飛騨市防災リーダー養成講座

# 防災コラム

#012



名前：磯方直美

卒塾期：4期

活動地域：西濃(主に海津市)

連絡先：isokata\_naomi@bell.ocn.ne.jp

## 介護施設への伴走支援

私は民生委員として地域の防災に関わってきましたが、興味があった介護施設に関する防災とは、少し離れた所にいました。

そこで、令和元年度にげんさい未来塾へ入塾し、大学教員の指導のもと、避難確保計画の見直し等、介護施設の防災対策について学びました。

分からないことも多かった半面、民生委員として経験した「介護初任者研修」や、地元の介護施設で開催された「地域密着会議」の知識がとても役に立ちました。

令和5年7月には、県の伴走型防災支援事業に参画し、可児市の介護老人保健施設で、避難確保計画の策定や見直しに向けた実地研修の講師を担当しました。

介護専門職からの質問に答えられるのか不安でしたが、げんさい未来塾の仲間と協力して、1つずつ対応することができました。

避難確保計画をもとにした避難訓練では、実際に話し合いながら動いてみる事で新たな気づきがあり、コミュニケーションの大切さが見えた訓練でした。

# 防災コラム

#011



名前：伊藤 三枝子

卒塾期：1期

活動地域：岐阜県全域

連絡先：chamo56chamo8@gmail.com

## 学校の安全を見直しましょう！

学校防災は、子どもたちや職員の安全を守るため、事故防止や災害対策など、様々な場面を想定して、適切な対策を講じられるようにする必要があります。

私が参画した県の「学校安全支援事業」では、学校ごとの状況に応じて、適した訓練を選んでいただけるようにしています。

例えば、自助を学ぶ「命を守る訓練」や「DIG（災害図上訓練）」、HUG（避難所運営ゲーム）」などの訓練があり、ゲーム形式で学んでいただくことができます。

そのほかにも「校内安全点検」や「避難所開設訓練」など、様々な支援があり、学校の特性に応じて、選んでいただくことが可能です。

私は、子どもたちや職員の命を守るための訓練を実りあるものにするために、テーマに併せて担当の先生方と丁寧な打ち合わせを行いながら支援事業を実施しています。

これからも「防災や安全」を身近に捉え、自ら考え、行動する方が増えるよう活動していきたいと思えます。



令和5年7月 学校安全支援事業

# 防災コラム

#010



名前：小林 睦

活動地域：西濃地域

卒塾期：4期

連絡先：sopura.5296.sing@gmail.com

## 防災を身近に感じる訓練！

私は現在、地域での防災出前講座や、「楽しく学ぼう」をモットーに、防災を身近に感じていただくため、ゲームを活用した防災研修を行っています。

また、高齢者福祉施設におけるBCP（事業継続計画）策定支援や、避難確保計画作成・見直しなどの「伴走型支援」も行っています。

私が支援に携わった高齢者施設では、施設で実施した避難訓練から得られた学びを、避難確保計画へ反映させる取り組みを行っていただきました。

これにより、施設の備えを充実させるだけでなく、施設で働いている職員1人1人にも災害を自分事として捉え、家庭の備えを見直してもらうなど、防災を身近に感じていただきました。

伴走型支援が終了した後も、施設が自らPDCAサイクルを活用し、訓練結果を次の計画へ反映が出来るよう、支援を行っています。

これからも様々なツールを生かして、防災を身近に捉えていただける講座や、伴走型支援を行っていきたいと思います。



令和5年8月 伴走型支援事業

# 防災コラム

#009



名前：高木 淳一

卒塾期：1期

活動地域：岐阜県内

連絡先：makidamatizukuri@yahoo.co.jp

## 「防災」を身近に！

私は幅広く防災啓発活動に取り組んでいます。柱の一つに「土砂災害」を位置付けています。

令和5年6月11日に開催された、県砂防課主催の「砂防フェアinかいづ」では、講演会の講師として参画させていただきました。

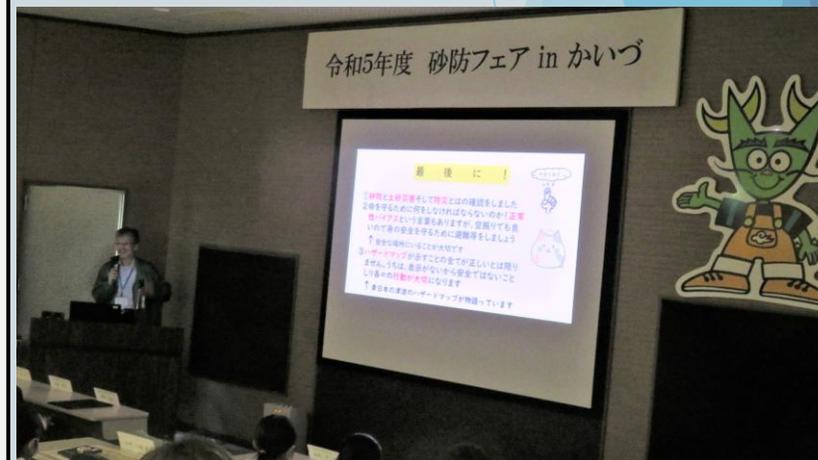
この講演会では、土砂災害ハザードマップ上のイエローゾーン（土砂災害計画区域）に住んでいる私の立場から、現実味のある「土砂災害のお話し」をさせていただきました。

受講者は、小中学生向け砂防ポスター表彰の受賞者である児童・生徒とそのご家族、約50名でした。

専門的な話を児童・生徒にも解りやすく伝えることは難しいですが、防災のハードルを下げ、皆さんに「防災を身近に」感じていただくことが私のモットーです。

このため、受講者の皆さんにどの様に伝わるのかを考え、どうすれば身近に感じてもらえるかを工夫しながらお話ししました。このような機会は、私にとっても良い経験になったと感じています。

皆さんも「防災を身近に」感じて、まずは自らの命を守るために考えてみませんか！



令和5年6月「砂防フェアinかいづ」

# 防災コラム

#008



名前：中村 佐記子

卒塾期：6期

活動地域：東濃地区（瑞浪）

連絡先：kikikanri@city.mizunami.lg.jp

## 防災にも女性の視点を！

私は、瑞浪市が開催した防災リーダー養成講座を受講後、防災士の資格を取得しました。2013年に結成された「みずなみ防災会」では、防災訓練や講話などの防災啓発活動を行っています。

防災にも女性の視点が必要ということから、2022年には「みずなみ防災会女性部会」を立ち上げました。

毎月テーマを決め、非常用トイレや非常食の試食などを題材に、女性視点での防災チラシづくりに取り組み、女性部会便りを発行しています。

避難所運営には、女性に限らず高齢者や障がい者、子育て家庭など、多様な方々への配慮や資機材が必要です。

そこで、瑞浪市と今後の避難所運営について話を進めていく中で、県の「女性等の視点を踏まえた避難所運営推進事業補助金」を活用した資器材整備の検討会議に参画させていただき、女性部会から市へ、女性視点を踏まえた必要資器材の提案を行いました。

これからの避難所運営は、資機材や物資を活かし、多様な被災者の背景に目を向け、寄り添いながら避難所の生活環境を整えることが大切です。

今後も、女性視点を踏まえながら、多様性に配慮した避難所運営や防災啓発活動を行っていきます。



令和5年「女性等の視点を踏まえた避難所運営推進事業」

# 防災コラム

#007



名前：藤村 祐子

卒塾期：2期

活動地域：岐阜市・中濃

連絡先：info\_kanibousai@tg.commufa.jp

## 楽しく・解りやすい防災啓発を！

私は、女性目線の防災を中心として、子どもから乳幼児の保護者、高齢者、外国人の皆さんなどを対象に、幅広く防災啓発活動を行っています。

子ども向けには、私が会長を務める「可児市防災の会」が発案した防災ゲームを使って、防災教室を行っています。体験した子ども達からは、子どもならではの質問が飛び出し、私たちが学ばされることも多いです。

乳幼児の保護者や高齢者に対しては、民生委員でもある立場を活かして、解りやすくお伝えしています。

令和5年8月には、岐阜県外国人活躍・共生社会推進課から依頼を受け、県が主催する「外国人防災リーダー研修」に講師として参加し、意見交換のファシリテーター等を務めました。

また、令和5年11月にも、可児市で開催された「防災街歩き」に講師として参加し、外国人防災リーダーの方と街を歩きながら、危険個所について一緒に考えました。

今後も、受講者目線で、解りやすく・楽しく・納得できる防災講座を開催しますので、ぜひお声がけください。



令和5年11月 外国人防災リーダー研修

# 防災コラム

#006



名前：二村 チズ子

活動地域：下呂市

卒塾期：3期

連絡先：yuinasyun@gmail.com

## 地域防災・減災を知る、学ぶ、伝える活動を続けて

私は、下呂市を中心に、防災士のスキルアップを目的とした研修会を企画しています。また、子どもから高齢者まで、幅広い層に向けた防災活動をしています。

元々は介護士の仕事をしていたのですが、東日本大震災をきっかけに、介護だけでは災害対策が不十分であることを痛感し、防災活動に興味を持ちました。

そこで、平成23年に防災士の資格を取得し、地域防災を学び、伝える啓発活動を始めました。

令和5年には、県高齢福祉課が主催する、高齢者施設での伴走型支援事業に参加しました。

施設関係者の皆様と、豪雨災害を想定した避難訓練を実施し、得られた気づきや発見について話し合い、一緒に避難確保計画を考えました。

話し合いの中で、避難開始のタイミングや、高齢者の負担軽減、要配慮者の対応方法など、隠れていた課題を発見し、対策することで、より実践的な計画を作成していただくことができました。

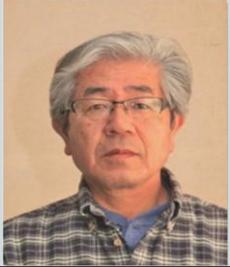
今後も、さらに多くの課題を解決するため、防災士の仲間たちと共に防災を学び、地域での防災啓発活動を続けていきます。



令和5年8月 伴走型支援事業（飛騨市）

# 防災コラム

#005



名前：岩茸 伸一

活動地域：飛騨地域

卒塾期：1期

連絡先：s.iwagoke@hidatakayama.ne.jp

## より安全な避難計画を。

私は平成26年に防災士を取得し、地域で防災の普及活動を行おうとしましたが、当時はそのような活動団体がなかったため、翌年に「高山市民防災研究会」を立ち上げました。

平成28年には、清流の国ぎふ防災・減災センターの「げんさい未来塾」に入塾し、1年間をかけて防災・減災活動のスキルを習得しました。

現在では、児童・生徒や地域町内会等、様々な団体に向けた防災の普及活動を行っています。

令和5年には、県高齢福祉課が主催する、高齢者施設での伴走型支援事業に参加しました。

下呂市にある「特別養護老人ホームあさぎりサニーランド」にて、避難確保計画をもとにした避難訓練を実施し、計画の見直しをお手伝いしました。

この施設は、大雨災害からの避難を実際に経験しており、職員の皆さんが危機意識を持っていたため、より実践的な訓練ができました。また、避難完了から逆算して、より安全なタイムラインを作成し、行政が発表する避難情報前でも行動を起こせる体制が取れるよう考えていただきました。



令和5年 伴走型支援事業（下呂市）

# 防災コラム

#004



名前：伊藤 三枝子

卒塾期：1期

活動地域：岐阜県全域

連絡先：joseibosai2017@gmail.com

## いろいろな方に届けたい防災活動 (多様性のある防災活動)

ひとたび災害が発生すると、あらゆる人が被害を受けます。

全ての人々が適切な防災知識を持ち、いざという時に、自分の身を守る行動に繋がっていただけるよう、女性の視点を踏まえ、地区防災組織、要配慮者、外国人の方々をはじめとした、様々な方々へ向けた防災活動を行っています。

その1つが、外国人の方々を対象とした防災啓発の取り組み。日本語に慣れていない外国人の方々には、災害情報が聞き取れず避難が遅れたり、避難所での食文化が異なる等、様々な問題を抱えています。

そこで昨年10月、岐阜県外国人活躍・共生社会推進課が主催する外国人防災リーダー研修において、「災害情報を知る方法や、避難所での生活について学んでみよう」をテーマに講座を開催。地震・水害が発生した場合に想定される問題、災害情報・避難情報の取得方法などについて、母国と日本との違いを対比させながら、オンラインで理解を深めました。

県内に住む外国の方々には、防災について改めて学んで頂けたことと思います。

これからも、あらゆる方々が「防災」を自ら考え、命を守るための行動を起こし、実践できる方がひとりでも多く増えるよう、活動を続けたいと思っています。お気軽にお声かけ下さい。



令和5年10月 外国人防災リーダー研修（オンライン）

# 防災コラム

#003



名前：伊藤 道廣

卒塾期：1期

活動地域：瑞浪市（東濃地域）

連絡先：wideroad\_x@yahoo.co.jp

## 様々な防災訓練を承ります！

私が所属する「みずなみ防災会」は、2013年に発足し、現在では100名余りの会員が活動しています。

地域や学校、企業など、様々な団体からの要請に基づき、年間で約50回の防災講話や災害図上訓練、屋外での初期消火、地震体験、パッククッキング、体育館を使用した避難所開設訓練などを行っています。

当会の強みは、市役所や消防署・消防団、社会福祉協議会、災害救援ボランティアなどと連携し、様々な要望に対応できることです。

今年にはNHKや日経新聞などが主催する防災啓発活動にも協力しました。

令和5年11月には、岐阜県農政部からの要請を受け、瑞浪市では初となる「ため池災害図上訓練」を実施し、地域住民だけでなく、市職員や県職員にも訓練を体験していただきました。

訓練の対象地域は土岐川とため池に挟まれ、更には土砂災害が発生する危険性が高いことから、どのタイミングでどこへ避難するかを理解し、実践できるようになることを目標に実施しました。

参加者からは、「地域の危険性がより理解でき、楽しかった。」との言葉をいただき、私たちの理念「楽しい防災訓練」が出来たとともに、私たちのスキルアップにも繋がる良い経験となりました。



令和5年11月 ため池災害図上訓練（瑞浪市）

# 防災コラム

#002



名前：足田 一男

卒塾期：2期

活動地域：羽島・岐阜

連絡先：bousai@sekitorikun.com

## 防災会との連携について

羽島の小熊地区に防災士による防災会を立ち上げ、自治会組織や小学校と共に、主に防災啓発活動をしています。小熊地区の皆さんの協力を得ながら、2年越しで地区防災計画の作成を行うことが出来ました。

また、時には他の地区へ出向き、拙い話を聞いて頂いております。

令和5年10月には、飛騨地区消防連絡協議会の消防防災研修会にて話をさせて頂く機会があり、小熊地区では防災会と自治会組織、消防団がどのように連携しながら活動をしているのかを話させて頂きました。

研修会の終了後には、話を聞いて下さった方々が、次々と質問に来られ、列を成す状態となりました。

ご相談の内容から、消防団の皆さんが、どのように地域と連携したら良いのかを苦慮されていることが、ひしひしと伝わって来ます。

消防団を地域防災の核にしようと、国は法整備などを進めて来ましたが、現場では、暗中模索の日々が続いていることを実感しました。

今後もテーマに応じた話をさせて頂きますので、ご興味のある方はぜひご連絡ください。



令和5年10月 飛騨地区消防防災研修会の様子（下呂市）

# 防災コラム

#001



名前：山本 真紀

卒塾期：6期

活動地域：飛騨圏域

連絡先：blackdoglab3@icloud.com

## 自分サイズの「防災・減災」に取り組んでみませんか？

私は現在、地域・生活環境・年代に応じた取組みの提案やワークショップ運営のサポートなどの啓発活動をしています。

このきっかけは、平成30年7月豪雨災害で、避難所運営のお手伝いをしたこと。この時に地域防災の大切さを痛感しました。また、重度障がいのある息子への対応など、本当にわからないことばかりで、このままでは「だしかん」（このままではいけない）と思い立ち、防災について学び、啓発活動を始めました。

私が講師を担当した美濃地区での講座では、「参加者が自分事として考えられる仕掛けづくり」として、子どもから年配の方まで、その世代にあわせたワークショップの方法や、伝え方を説明しました。

これからも「防災」を身近な「自分事」として捉え、自ら考え、行動する方がひとりでも多く増えるよう楽しい啓発活動を続けていきたいと思っています。

**こんな時、お声がけください！**

- ①地域での各種防災学習会
  - ②小中学・特別支援学校の防災教室
  - ③地区防災計画作成ワークショップ
- ご希望に合わせた内容で実施します。**



令和5年7月 地域づくり型生涯学習講座（美濃地区）